報道関係 各位

2021 年 11 月 2 日
Langsmith 株式会社

ラングスミス、ロボット工学などの 5 分野へ特化したシステムを公開
英語論文の執筆をサポート

Langsmith 株式会社は 2021 年 4 月より提供している英語論文執筆支援システム「Langsmith Editor」（https://ja.langsmith.co.jp）で、ロボット工学、音情報科学、ソフトウェア工学、社会情報学、制御工学の 5 分野それぞれに特化したエンジンを公開しました。

Langsmith 株式会社はこれまで、医学、薬学、化学、計算機科学といった分野向けの推敲エンジンを公開してきました。今回は、計算機科学分野の細分領域として「ロボット工学」、「音情報科学」、「ソフトウェア工学」、「社会情報学」、「制御工学」の 5 つの領域をさらに追加しました（図 1）。
論文の分野に応じてエンジンを設定することで、その分野に適した提案を得ることが可能になります（図 2）。

これら 5 つの計算機科学エンジンは、Free プラン登録時の無料トライアル（7 日間）及び、Premium プランにて利用可能です。

今後、さらに対応分野を増やしていく予定です。
また、2021 年 12 月 31 日までご利用いただける 800 円割引のプロモーションコードを公式 Twitter（https://twitter.com/langsmith_nlp）にて配布中です。

ロボット工学（Robotics）	ロボット工学に関する分野
音情報科学（Sound）	サウンドモデル、分析と合成、オーディオ・ユーザー・インターフェースなど、音を使ったコンピューティングに関する分野
ソフトウェア工学（Software Engineering）	設計ツール、ソフトウェアメトリクス、テストとデバッグ、プログラミング環境などに関する分野
社会情報学（Social and Information Networks）	オンラインでの情報アクセス、コミュニケーション、インタラクションへの応用、ソーシャルネットワークや情報ネットワークのデザイン、分析、モデリングに関する分野
制御工学（Systems and Control）	自動制御システムに関する理論的、および実験的な研究に関する分野

図 1: 追加された細分領域の詳細

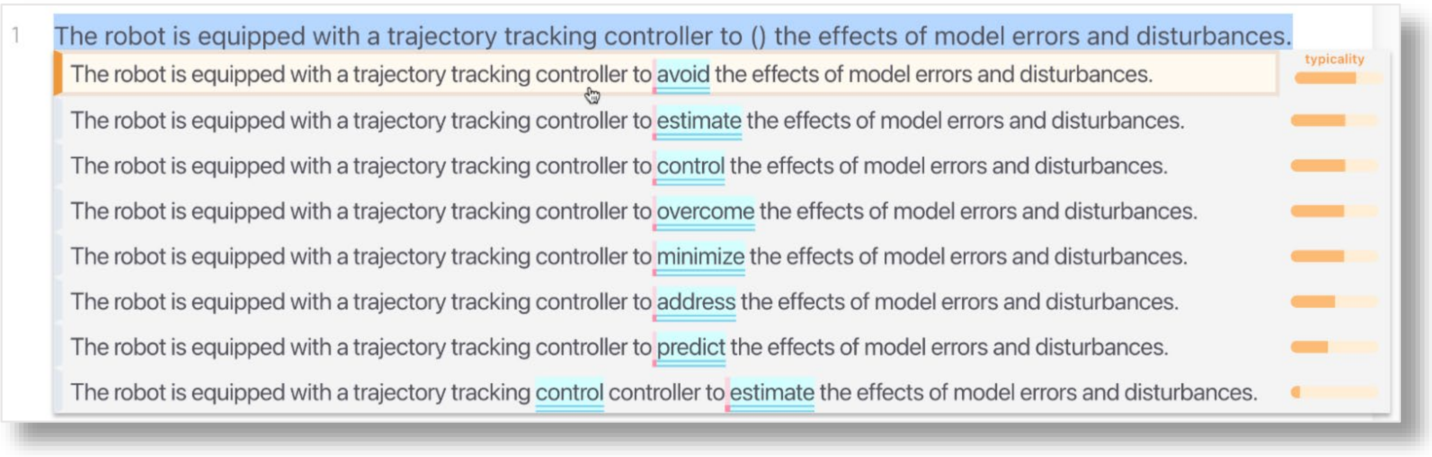
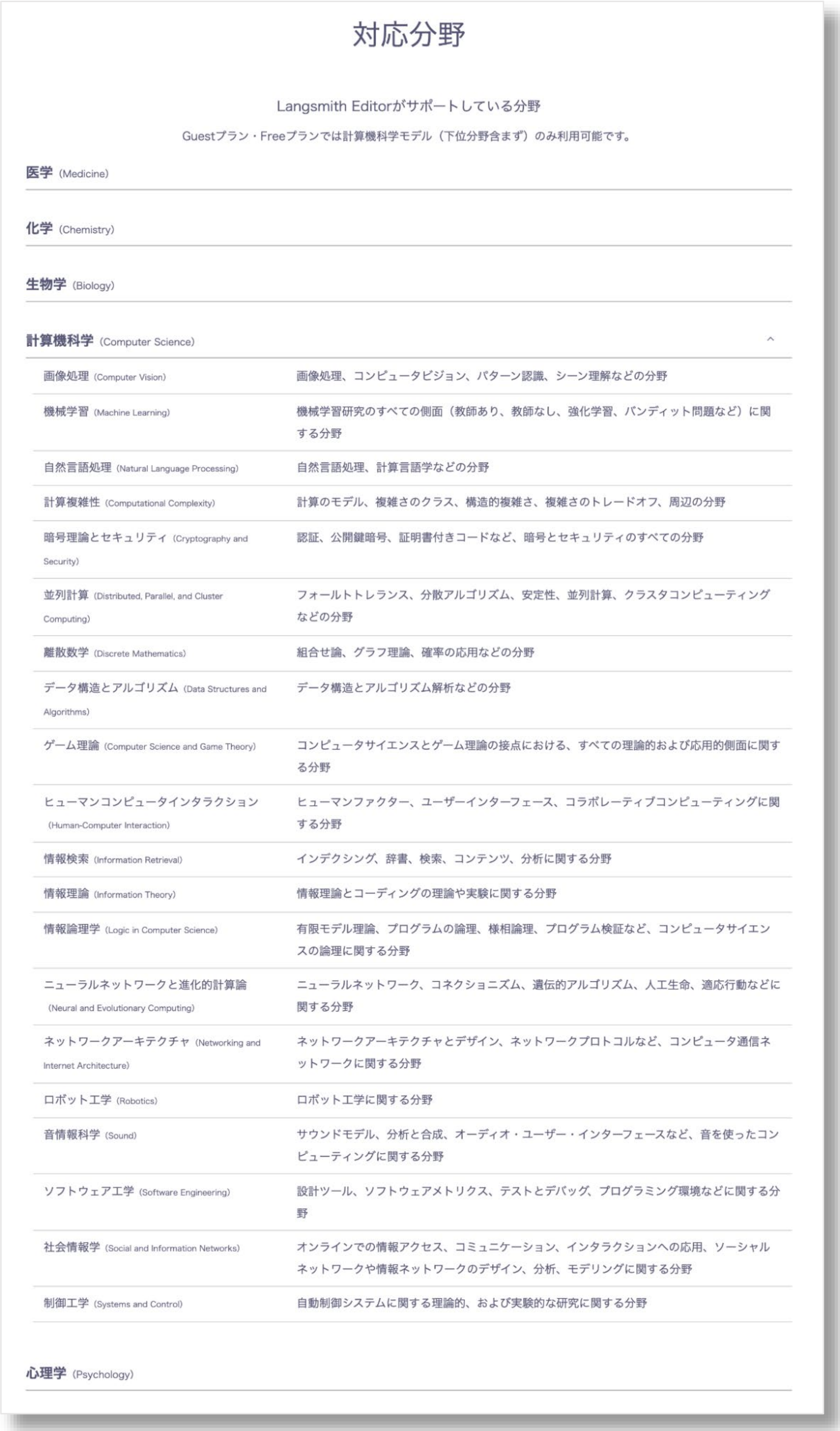


図 2: ロボット工学による言い回し提案の例。特定の位置（図中「()」で指定されている箇所）に単語を挿入するといった生成のコントロールも可能。

【Langsmith Editor の概要】

論文執筆は研究者にとって重要な活動です。特に世界に向けて研究を発信する際には、技術やアイデア、発見をわかりやすく、正確に英語で伝える必要があります。この点で、英語を母語としない研究者や学生はハンディキャップを負っています。執筆支援システムの上で英語の文章を書くと、論文に適した言い回しの提案などを受けることができます。

Langsmith Editor では、分野によって好まれる文体や専門用語などが異なることを踏まえ、特定分野へ特化したエンジンを提供しており、医学・化学・生物学・心理学・計算機科学をサポートしております (図 3)。



対応分野

Langsmith Editorがサポートしている分野

Guestプラン・Freeプランでは計算機科学モデル（下位分野含まず）のみ利用可能です。

医学 (Medicine)

化学 (Chemistry)

生物学 (Biology)

計算機科学 (Computer Science)

画像処理 (Computer Vision)	画像処理、コンピュータビジョン、パターン認識、シーン理解などの分野
機械学習 (Machine Learning)	機械学習研究のすべての側面（教師あり、教師なし、強化学習、バンディット問題など）に関する分野
自然言語処理 (Natural Language Processing)	自然言語処理、計算言語学などの分野
計算複雑性 (Computational Complexity)	計算のモデル、複雑さのクラス、構造的複雑さ、複雑さのトレードオフ、周辺の分野
暗号理論とセキュリティ (Cryptography and Security)	認証、公開鍵暗号、証明書付きコードなど、暗号とセキュリティのすべての分野
並列計算 (Distributed, Parallel, and Cluster Computing)	フォールトトレランス、分散アルゴリズム、安定性、並列計算、クラスタコンピューティングなどの分野
離散数学 (Discrete Mathematics)	組合せ論、グラフ理論、確率の応用などの分野
データ構造とアルゴリズム (Data Structures and Algorithms)	データ構造とアルゴリズム解析などの分野
ゲーム理論 (Computer Science and Game Theory)	コンピュータサイエンスとゲーム理論の接点における、すべての理論的および応用的側面に関する分野
ヒューマンコンピュータインタラクション (Human-Computer Interaction)	ヒューマンファクター、ユーザーインターフェース、コラボレーティブコンピューティングに関する分野
情報検索 (Information Retrieval)	インデクシング、辞書、検索、コンテンツ、分析に関する分野
情報理論 (Information Theory)	情報理論とコーディングの理論や実験に関する分野
情報論理学 (Logic in Computer Science)	有限モデル理論、プログラムの論理、様相論理、プログラム検証など、コンピュータサイエンスの論理に関する分野
ニューラルネットワークと進化的計算論 (Neural and Evolutionary Computing)	ニューラルネットワーク、コネクショニズム、遺伝的アルゴリズム、人工生命、適応行動などに関する分野
ネットワークアーキテクチャ (Networking and Internet Architecture)	ネットワークアーキテクチャとデザイン、ネットワークプロトコルなど、コンピュータ通信ネットワークに関する分野
ロボット工学 (Robotics)	ロボット工学に関する分野
音情報科学 (Sound)	サウンドモデル、分析と合成、オーディオ・ユーザー・インターフェースなど、音を使ったコンピューティングに関する分野
ソフトウェア工学 (Software Engineering)	設計ツール、ソフトウェアメトリクス、テストとデバッグ、プログラミング環境などに関する分野
社会情報学 (Social and Information Networks)	オンラインでの情報アクセス、コミュニケーション、インタラクションへの応用、ソーシャルネットワークや情報ネットワークのデザイン、分析、モデリングに関する分野
制御工学 (Systems and Control)	自動制御システムに関する理論的、および実験的な研究に関する分野

心理学 (Psychology)

図 3: Langsmith 対応分野一覧

■Langsmith 概要
社名：　Langsmith 株式会社
本社：　東京都渋谷区渋谷 3-25-18
メンバー：

代表取締役	後藤　高志	（MLS 取締役　弁護士）
共同創業者	伊藤　拓海	
共同創業者	栗林　樹生	
取締役	森山　雅勝	（MLS 代表取締役社長）

設立：　2018 年 5 月
事業：　自然言語処理、ディープラーニングを使った文章推敲支援人工知能システムの開発
URL：　Langsmith Editor　https://langsmith.co.jp/
サービス紹介　https://ja.langsmith.co.jp/
コーポレート　https://corp.langsmith.co.jp/

Langsmith 株式会社はマシンラーニング・ソリューションズ株式会社（MLS）の子会社になります。MLS は、トランスコスモス株式会社、株式会社フジ・メディア・ホールディングス傘下の株式会社フジ・スタートアップ・ベンチャーズ、チームラボ株式会社を株主に、2017 年 9 月より事業を開始しました。機械学習関連の技術支援・コンサルティング事業と機械学習関連ビジネスを行うベンチャー企業に資金支援と技術支援を行うインキュベーション事業を展開しています。
MLS は今後とも、機械学習サービス・ソリューションの開発をより一層推進していきます。

■MLS 概要（https://machine-learning.co.jp/）
社名：　マシンラーニング・ソリューションズ株式会社
本社：　東京都千代田区大手町１－６－１
役員：　代表取締役社長 森山 雅勝
設立：　2017 年 5 月
事業：　機械学習関連の技術支援・コンサルティング事業
機械学習関連ビジネスを行うベンチャー企業に資金支援と技術支援を行うインキュベーション事業

※ マシンラーニング・ソリューションズは、マシンラーニング・ソリューションズ株式会社の日本における登録商標または商標です
※ その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

報道関係者お問い合わせ先
Langsmith 株式会社 管理部 米村
Email：pr@langsmith.co.jp